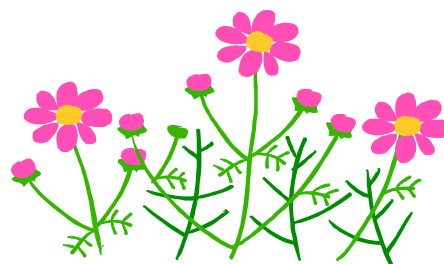




長い夏休みが終わり、新しい学期が始まりました。学期は竹で言えば節のようなもの、子どもたちには新たな気持ちで過ごしてほしいものです。2学期は文化的行事、体育的行事等、いろいろな行事があります。学習や運動など学校生活に前向きに取り組んで、充実した学校生活にしてくれることを期待しましょう。



## 「ほんの少しの違い」

できない人は言葉で説得し  
できる人は行動で説得する  
できない人は話したがりがり  
できる人は聞きたがる  
できない人はお金を求め  
できる人は成長を求める  
できない人は過去にこだわりのり  
できる人は未来にこだわる  
できない人は不可能と思ひ  
できる人は可能と思ふ  
できない人は他人のせいにして  
できる人は自分のせいにする  
できない人は一人で頑張り  
できる人はみんなで頑張る  
できる人もできない人も  
能力にほとんど差はない  
ほんの少しの意識の違いによって  
結果に差が生まれる

田口久人さん

ある日、車を運転しているときにラジオのアナウンサーが、この詩のことを紹介していました。気になったので、帰宅してからネットで調べてみました。

考えさせられますね。この詩を読みながら、一つひとつ考えてみました。恥ずかしながら、私は見事に「できない人」になってしまいました。反省させられることがとても多かったです。

「青少年育成センター第68号」で“心訓”を基に子どもさんと話し合ってみましょうと提案しました。今回は、この“ほんの少しの違い”を使って話し合ってみられることを提案します。子どもがより良く生きていく力をつけるためには、良い言葉に触れさせることが大切です。できれば小さいときからがいいのではないのでしょうか。そして、生きる上で大切なことについて考えることは、子どもの心の成長に欠かせないものだと思います。さあ、話し合ってみましょう。この詩から、子どもが何を学んでくれるのか楽しみです。

話し合うときに、最後の言葉である、「できる人もできない人も能力にほとんど差はない」「ほんの少しの意識の違いによって結果に差が生まれる」、ここに焦点を当てて考えてみるといいと思います。詩の作者はそのような意識がもてるか、もてないかで大きな違いが出てくると言っています。意識は価値観にも言い換えられます。正しい価値観をもつことが大切であるようです。

正しい意識（価値観）をもった子どもに育ってくれるとよいですね。